



早いもので、今年も残すこと後一か月となりました！長久保公園の木々も、緑から赤や黄色に変わり、すっかり秋が深まってきました。子ども達は落ち葉の上をカサカサ踏んで音を鳴らす、集める、ちぎる、などそれぞれ工夫して遊び、自然に触れています。

♪公園に行く準備と支援♪



季節は冬へと移り変わり、寒い日が増えてきましたね。12月のぽっかぽかでは冬の外遊びに行く際の準備、着脱についてです。

外へ行く前の準備



1. 自分の帽子と靴下を取って緑の待ち椅子に座る
「お外へ行く準備、何を準備する？」と子供へ聞くと帽子！靴下！と言葉やジェスチャーで答えてくれます。では準備しに行きましょう。と言ってロッカーのほうへ行きます。
2. 帽子をつけて靴下を履く
各々帽子と靴下を取り、緑の待ち椅子で準備します。
「帽子つけてみて」、「靴下履いてみて」と言葉をかけると自分で帽子や靴下をつけようとします。「できないよ～」と子どもから言われたら、「つま先だけ入れるね」や「帽子のつば持っとくからかぶってみて」と言葉をかけ自分でできるところの手前までお手伝いして最後は子ども自身でやることで子どもが達成感を味わえます。
3. 上着を着る
かごを降ろして自分の上着とってねと言って上着をとってもらい袖に腕を通します。そしてチャックの下部分を大人が付けて「チャック引っ張って」と言うと上まで子どもが引っ張ってくれます。
4. 外へ出て靴を履く
靴を履く時は「ビリビリしようね」と言ってマジックテープを自分で剥がしてもらい各々できるところまで挑戦して「できないよ～」と言われたら子どもと一緒に靴を履いています。

大人が意識していること

子どものできていた部分を褒めて、子どものやる気をさらに出していける様な言葉掛けを意識しています。子どもの足らなかった部分は具体的言葉と一緒にやったりしていくことで子どもが向上心を持って活動していけます。

